

平成 19 年度森林共生フォーラム現地研修会の概要

本年度の現地研修会は、10 月 18～19 日に三国街道沿線、群馬県みなかみ町、新潟県湯沢町・南魚沼市において開催いたしました。

第 1 日目は、JR 上越新幹線上毛高原駅に集合し、みなかみ町の国有林において地域と自然保護団体、そして国有林の 3 者が中核となって生物多様性の復元、持続的な地域社会づくりなどを旨とする「赤谷プロジェクト」を視察し、その取組状況についてお話を聞きました。

そして、三国峠のトンネルを抜けて新潟県に入り、湯沢町にある「苗場スキー場」では、夏場のスキー場での取組事例等について説明を受け、世界最長 5,481m の「ドラゴンドラ」に乗って大自然の空中散策を楽しみました。当日の宿泊は、南魚沼市にある北欧風のロマンチックな赤い三角屋根の豪華ホテル、「ホテルグリーンプラザ上越」でした。

第 2 日目は、先ず、宿泊したホテルを含め約 1,000ha の広大なエリアを擁する「上越国際スキー場」における四季を通じた取組、温泉を活用した足湯、水と緑のウォーターパーク、パターゴルフ、森林内のトレイル等を見学し、お話を伺いました。続いて、江戸時代に越後の厳しい雪について紹介するなど、雪の学者、越後の民俗・文学者として高く評価されている鈴木牧之の「鈴木牧之記念館」を見学し、説明をお聞きしました。



(ホテルグリーンプラザ上越)

それから、紅葉の進んだ八海山麓に移動し、「八海山スキー場」における夏期間の取組についてお話を伺い、国内最速の秒速 10m の「八海山ロープウェイ」に乗って山頂駅へ、展望台からの 360 度の大パノラマを楽しみました。帰りには、霊験あらたかな八海山神社にお参りし、2 本ずつ根元の繋がったスギ並木の参道を散策しました。終わりに、「八海山泉ビール苑」で地ビールを試飲しながら昼食を取り、JR 上越新幹線越後湯沢駅で解散しました。

今回の現地研修会につきまして、ご多用のところご参加いただいた皆様はもとより、開催に当たり多大なご支援をいただきました各スキー場の皆様、関東森林管理局や林野弘済会前橋支部の皆様をはじめ関係の皆様に対し、この場を借りて厚くお礼申し上げます。本当に有り難うございました。最後に、感想として、参加者の皆様から「今回視察した各スキー場はいずれも四季を通じた取組、特に夏場の取組がすごい。頑張っている。」という声が多くあったことを申し添えます。